



「2023年3月ダイヤ改正について」提案を受けました！その①

JR東労組大宮地本は12月23日「2023年3月ダイヤ改正について」提案を受け、その中で職場が抱えている問題点を訴えると同時に、会社の考えを引き出してきました。改正事項と議論の特徴点を報告します。

会社は2023年ダイヤ改正で、新幹線では上越新幹線及び北陸新幹線の所要時間を短縮し利便性向上を図るほか、上越新幹線の全列車をE7系に統一する。在来線では高崎線特急をE257系に置きかえるほか、JR・東武直通特急の輸送体系を見直す。京葉線では幕張豊砂駅を開業するとしています。

【2023年ダイヤ改正における **車両関係における提案のあり方** について冒頭議論】

組：今回のダイヤ改正の提案について車両関係は首都圏本部へ一括しての提案となった理由は？

会：一労組一提案という事で労働協約に則り取り扱っている。

組：施策は基本的に労働条件変更の提案を受け、組合員間で議論し、申し入れを行い、労使議論してきた労使慣行がある。大宮支社の勤労の認識は？

会：主張は受け止めていきたいが、本部一本社間の議論もあると思っている。

組：首都圏本部から大宮地本に提案がない、運輸の担当も入れない。 **「不利益扱い」** だ！

会：ご意見は受け止めるが、今回の件は本社の方に伝えていきたい。

【主なダイヤ改正事項】

1. 新幹線関係

(1) 上越新幹線、北陸新幹線の所要時間を短縮する。

(2) 上越新幹線の全列車をE7系に統一する。

→E7系に変わることによって車両性能が上がる。また大宮以北の防音壁工事が完了したため時間短縮となる。

2. 在来線関係

(1) 高崎線特急をE257系に置き換える。

→列車名変更「草津」⇒「草津・四万」：全車指定 「スワローあかぎ」⇒「あかぎ」：新着席サービス

(2) JR・東武直通特急の輸送体系を見直す。

→現行は4往復となっているがダイヤ改正後は午前を下り列車2本、午後を上り列車2本となる。この間のお客さまのご利用状況を見て判断した。ただ繁忙期や混雑が予想される土日などには定期列車を含めて臨時列車を設定して最大5往復を考えている。今後、お客さま周知に努めていく。

(3) 京葉線に幕張豊砂駅を開業する。

→大宮支社として現場を確認し、必要な教育は行っていく。

(4) ご利用状況にあわせた輸送体系を見直す。

3. その他

業務のさらなる融合と連携に向けた「その他時間」を行路内の一部時間に指定していく。

→その② (OMIYA NEWS NO. 112) の情報をご参照ください！！

**組織再編や働き方が大きく変わる変化点！
組合員の声から安全・健康・ゆとりを実現しよう！**